

平成 25 年 8 月 6 日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

- | | |
|---|----|
| 1. ガス機器・石油機器に関する事故
(うちガスこんろ(LPガス用) 1件) | 1件 |
| 2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故
(うちIH調理器1件、エアコン2件) | 3件 |
| 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故
(うち扇風機1件、電気こんろ1件) | 2件 |
| 4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議(※)
において、審議を予定している案件
該当案件無し | |

1. ~ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 東芝キヤリア株式会社が製造したエアコンについて（管理番号A201300313）

① 事故事象について

東芝キヤリア株式会社が製造したエアコンを運転開始直後、異音・異臭とともに当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品のファンモーターのリード線接続部分に、エアコン洗浄液等の電気を通しやすい物質が付着・侵入し、さらに当該製品内部で発生した結露がリード線接続部分に回りこむことによって、トラッキング現象が生じ、発煙・出火に至ったものと考えられます。

② 再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2004年（平成16年）8月19日にプレスリリース及びホームページに情報を掲載（2013年6月10日再掲載）し、翌8月20日に新聞社告を掲載するとともに、ダイレクトメールの送付、電話による連絡、新聞折り込みチラシ、交通広告（電車内）、全国自治体の広報誌への情報掲載等を通じて注意喚起を行い、対象製品について無償点検・改修（シリコンを充填したコネクタカバーを被せる又はファンモーターの交換）を実施しています。

なお、本年は、3月中旬から順次、同社製品全般の修理依頼があった際にリコールに関するチラシの配布を行うとともに、全国自治体の広報誌への情報掲載、介護施設へのPR、郵便局でのチラシ配布、販売情報サイト・ユーザー登録者へのPR等を行い、引き続き注意喚起及び無償点検・改修を呼び掛けています。

③ 対象製品等：機種・型式、対象製造番号、製造期間、改修対象台数

機種・型式	対象製造番号	製造期間	改修対象台数
RAS- 225LDR、255LDR、285LDR、 325LDR、406LDR、506LDR、 255LDR-D、285LDR-D、 406LDR-D 255LDR-G、285LDR-G 2559SDR、2859SDR、 4069SDR、 V285DR	全ての製造番号	1998年9月 ～ 2000年6月 (RAS-xxxLD Rシリーズ)	218,626台
RAS- 225YDR、255YDR、285YDR、 325YDR、405YDR、406YDR、 506YDR 255YDR-D、285YDR-D、 406YDR-D V285DR3、2833D-I		1999年9月 ～ 2001年3月 (RAS-xxxYD Rシリーズ)	287,560台
HAS- M221FDR1、M281FDR1 RAK- 285DR3、405DR3 RAG- 283KE、323KE、403KEJ SIK- J500AX、J630AX、P500HX、 P630HX	911*****、912***** 001*****、002*****、 003*****、004*****、 005*****、006*****、 007*****、008*****、	1999年11月 ～ 2002年1月	20,259台

(東京ガス(株)ブランド) TS- B2842U-S(GY)、 B3242U-S(GY)、 B4052U-S (大阪ガス(株)ブランド) 144-0014、144-0015 144-0016、144-0017 144-0019 (東邦ガス(株)ブランド) THCI-4932RC	009*****、010*****、 011*****、012***** 101*****、102*****、 103*****、104*****、 105*****、106*****、 107*****、108*****、 109*****、110*****、 111*****、112***** 201***** (*****は任意の数字)	
合 計		526,445台

2004年8月19日からリコールを実施
改修率 75.7% (2013年7月24日現在)

対象製品の外観 (写真はLDRシリーズ)



対象製品の確認方法：対象製品の機種・型式は、下図の位置に表示されています。



製造番号の確認方法：銘板の右下隅に下記8桁の番号が印刷されています。

001 * * * * *
↑ ↑ ↑
月 連番
西暦下1桁
9:1999年製
0:2000年製
1:2001年製
2:2002年製

④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検・改修を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

(東芝キャリア株式会社の問合せ先)

電話番号：0120-444-899

FAX番号：0120-445-175

受付時間：9時～18時(土・日・祝日を除く。)

ホームページ：<http://www.toshiba-carrier.co.jp/info/article/article-02.htm>

(本発表資料の問合せ先) 消費者庁消費者安全課
(製品事故情報担当) 担 当 : 大木、長井、川船^{かわふね}
電 話 : 03-3507-9204 (直通)
F A X : 03-3507-9290

(東芝キャリア株式会社が製造したエアコンについての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室
担当 : 水野、角田、中谷 電 話 : 03-3501-1707 (直通)
F A X : 03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201300307	平成25年7月8日	平成25年8月2日	ガスこんろ(LPガス用)	IC-4800F	パロマ工業株式会社 (現 株式会社パロマ)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	北海道	

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201300309	平成25年7月21日	平成25年8月2日	IH調理器	S52EB1K	松下電器産業株式会社 (現 パナソニック株式会社)	火災	当該製品で調理中、当該製品から発煙し、当該製品の内部部品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	神奈川県	
A201300310	平成25年7月23日	平成25年8月2日	エアコン	CS-224TB	松下電器産業株式会社 (現 パナソニック株式会社)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	東京都	
A201300313	平成25年7月24日	平成25年8月2日	エアコン	RAS-406LDR	東芝キャリア株式会社	火災	当該製品を運転開始直後、異音・異臭とともに当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。 事故原因は、現在、調査中であるが、当該製品のファンモーターのリード線接続部分に、エアコン洗浄液等の電気を通しやすい物質が付着・侵入し、さらに当該製品内部で発生した結露がリード線接続部分に回りこむことにより、トラッキング現象が生じ、発煙・出火に至ったものと考えられる。	広島県	製造から10年以上経過した製品 平成16年8月19日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 75.7%

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201300311	平成25年7月1日	平成25年8月2日	扇風機	火災 死亡3名	建物を全焼する火災が発生し、3名が死亡した。現場に当該製品があった。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	事業者が事故を認識したのは、7月25日
A201300312	平成25年7月16日	平成25年8月2日	電気こんろ	火災	当該製品を使用後、外出し帰宅したところ、当該製品に乗った鍋から出火する火災が発生しており、当該製品の周辺を焼損した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	愛知県	

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

I H調理器（管理番号：A201300309）



エアコン（管理番号：A201300310）

